

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2018年10月10日	
信託期間	2018年10月10日から2029年9月25日	
運用方針	「UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド(J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド(適格機関投資家向け)を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド(J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド(適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP(コマmercial・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	<p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。ただし、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会規則に定めるエクスポージャーがロックスルーできる場合に該当しないときは、当該投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> <p>④デリバティブの直接利用は行いません。</p> <p>⑤外貨建資産への直接投資は行いません。</p> <p>⑥一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会規則にしたがって当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時(毎年3月25日、6月25日、9月25日および12月25日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、計算期末の前営業日時点の基準価額水準、市況動向等を勘案して委託者が決定します。なお、基準価額水準が1万円(1万円当たり)を超えている場合には、上記①の範囲内で分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、分配を行わないこともあります。</p> <p>③収益の分配にあてなかった利益については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。</p>	

UBS 中国A株ファンド (年4回決算型)

愛称：桃源郷・年4

運用報告書(全体版)(第1作成期)
第1期 決算日 2018年12月25日
第2期 決算日 2019年3月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド(年4回決算型)」は、去る3月25日に第2期の決算を行いましたので、第1期～第2期(第1作成期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア イーストタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2019. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

* 設定以来の運用実績 *

作成期	決算期（決算日）	基準価額 （分配落）	騰落率			投資信託 証券組入比率	純資産 総額	
			税分	込配	み金			期騰
第1 作成 期	（設定日） 2018年10月10日	円 10,000			円 —	% —	百万円 0.1	
	1期（2018年12月25日）	8,864			0	△11.4	97.9	290
	2期（2019年3月25日）	10,929			600	30.1	97.3	658

(注1) 基準価額は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

(注5) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。（以下同じ）

* 当作成期中の基準価額等の推移 *

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落	率	
第1期	（設定日） 2018年10月10日	円 10,000		% —	% —
	10月末	9,220		△ 7.8	97.6
	11月末	9,491		△ 5.1	98.2
	（期 末） 2018年12月25日	8,864		△11.4	97.9
第2期	（期 首） 2018年12月25日	8,864		—	97.9
	12月末	8,851		△ 0.1	97.9
	2019年1月末	9,800		10.6	95.4
	2月末	11,157		25.9	108.7
	（期 末） 2019年3月25日	11,529		30.1	97.3

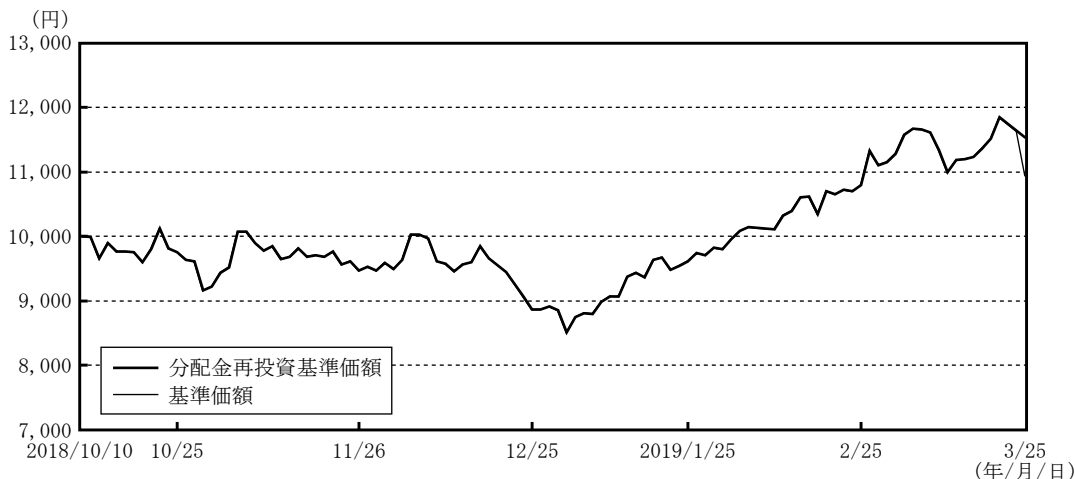
(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比（第1期は設定日比）です。

(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

* 当作成期の運用状況 *

＜当作成期の基準価額等の推移＞
 (2018年10月10日～2019年3月25日)



※分配金再投資基準価額は、当作成期中に支払われたファンドの分配金（1万円当たり、税引前）でファンドを購入（再投資）した場合の価額です。

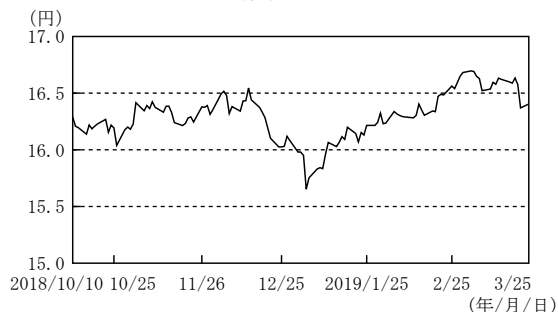
※分配金再投資基準価額は、設定日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

- 既払分配金600円（税引前）を加算した基準価額の値上がりは1,529円となりました。なお、基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は+15.3%となりました。

投資環境について

- 当作成期の中国A株市場は大きく上昇しました。期の前半は、米中貿易摩擦の悪化とそれに伴う中国実体経済への悪影響が懸念される中で、7-9月期の中国実質GDP成長率および9月、11月の鉱工業生産が市場予想を下回るなど、軟調な経済指標から中国経済の減速見通しが強まり、株安が進行しました。しかし、2019年に入ると、中国人民銀行による預金準備率引下げや中国政府の相次ぐ経済支援策、米中通商交渉進展への期待の高まり、さらには世界的な株価指数であるMSCI新興国株式指数が中国A株の組入比率を引き上げるといった報道などもあって、中国A株市場は急騰し、作成期初を大きく上回る水準で期末を迎えました。

■人民元／円レートの推移



運用経過

<当ファンドのポートフォリオについて>

■UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) およびUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、作成期を通じてUBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) への投資割合は90%以上を維持しました。

<UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) のポートフォリオについて>

■上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

○期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

金融では、経済発展の続く中国沿海部の中上流所得層への融資や富裕層向け金融業務の拡大により、大手国営銀行を上回る成長が期待できる中国招商銀行〔チャイナ・マーチャンツ・バンク〕や、中国平安保険集団の傘下企業としてグループ顧客への営業機会も活用しつつ、業容拡大を図る平安銀行〔ピンアン・バンク〕に、また情報技術では、米中貿易摩擦の影響は受けつつも、蓄積した膨大なデータや先行投資を強みに、AI技術分野でも中国トップレベルにある監視カメラメーカーの杭州海康威視数字技術〔ハンジョウ・ハイクビジョン〕をそれぞれ買い増すことにより、両セクターのウェイトを引き上げました。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

一方、投資比率を引き下げた業種は特にありません。上記のセクターウェイト引き上げには、通常時よりも多めに保有してきたキャッシュを充当しました。昨年10月までの株価下落で悪材料が相当程度織り込まれる一方、中国当局による内需振興策強化と一部業種に逆風となってきた規制が緩和される可能性が高まったこと、また、それによる中国経済の安定が通商交渉で米国に譲歩する余地を生み出すとの見方から、キャッシュ比率を引き下げました。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて>

■マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当作成期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

<基準価額の主な変動要因>

■当作成期の基準価額は、実質組入株式の株価変動がプラス（上昇）となったことにより値上がりしました。主なプラス要因は、中国政府の相次ぐ経済支援策や米中通商交渉進展への期待感などから中国株式が上昇したことです。

<ベンチマークとの差異について>

■当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

■当作成期の分配金は、市況動向および分配原資の水準等を勘案し、第1期は分配を行わず、第2期は1万口当たり600円（税引前）といたしました。分配にあてなかつた利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項 目	第1期	第2期
	2018年10月10日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年 3月25日
当期分配金	－円	600円
（対基準価額比率）	（－％）	（5.204％）
当期の収益	－円	600円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	－円	929円

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

■中国政府が支援策を相次いで打ち出していることや米中貿易摩擦における警戒感が和らいていることなどを背景に、中国株式市場にとり今後も好ましい環境が予想される一方で、同市場は、年初から大幅な上昇が続いていることから、今後も一本調子の上昇が継続することは見込みづらいと思われます。このような環境下、中国株式市場は短期的にボラティリティの高まる可能性はあるものの、長期的な観点での見通しは引き続き良好であると考えています。

<当ファンドの今後の運用方針>

■UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の投資比率を高位に維持する方針です。

<UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）の今後の運用方針>

■高い収益成長力を有し業界のリーダーとなり得る割安な企業を発掘し、銘柄を厳選して投資します。有望企業の株価の多くは依然として魅力的かつ割安な水準であり、引き続き投資機会を提供していることから、これを好機と捉えています。とりわけ、ヘルスケアや生活必需品、保険関連銘柄などに注目しています。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら運用を続けてまいります。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針>

■マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	第1期～第2期 2018/10/10～2019/3/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.558%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,703円です。
（投信会社）	(14)	(0.148)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.395)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の 情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.015)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	3	0.026	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.010)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(1)	(0.015)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	57	0.584	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 期中の売買および取引の状況 *（自 2018年10月10日 至 2019年3月25日）
投資信託証券

		第 1 期 ～ 第 2 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	12,016	千円 12	—	千円 —
	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	15,748	663,000	1,993	90,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

* 利害関係人等との取引状況等 *（自 2018年10月10日 至 2019年3月25日）

当作成期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

* 組入資産の明細 *（2019年3月25日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第1作成期末（第2期末）		
	口数	評価額	比率
	口	千円	%
UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）	12,016	11	0.0
UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）	13,754	640,939	97.3
合計	25,770	640,951	97.3

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

* 投資信託財産の構成 *

（2019年3月25日現在）

項目	第1作成期末（第2期末）	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	11	0.0
投資証券	640,939	91.0
コール・ローン等、その他	63,416	9.0
投資信託財産総額	704,366	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2018年12月25日) (2019年3月25日)

項目	第1期末	第2期末
(A) 資産	291,435,513円	704,366,683円
コール・ローン等	7,393,699	63,414,961
投資信託受益証券(評価額)	11,996	11,991
投資証券(評価額)	284,029,818	640,939,731
(B) 負債	1,215,059	45,380,992
未払収益分配金	—	36,177,625
未払解約金	821,780	7,975,784
未払信託報酬	377,546	1,177,154
未払利息	20	178
その他未払費用	15,713	50,251
(C) 純資産総額(A-B)	290,220,454	658,985,691
元本	327,408,448	602,960,420
次期繰越損益金	△ 37,187,994	56,025,271
(D) 受益権総口数	327,408,448口	602,960,420口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,864円	10,929円

(注1) 当ファンドの第1期首元本額は100,000円、第1～2期中追加設定元本額は777,455,525円、第1～2期中一部解約元本額は174,595,105円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第1期0.8864円、第2期1.0929円です。

* 損益の状況 *

第1期(自2018年10月10日 至2018年12月25日)
第2期(自2018年12月26日 至2019年3月25日)

項目	第1期	第2期
(A) 配当等収益	△ 945円	△ 4,985円
支払利息	△ 945	△ 4,985
(B) 有価証券売買損益	△24,958,262	67,890,848
売買益	8,598	90,166,057
売買損	△24,966,860	△22,275,209
(C) 信託報酬等	△ 393,259	△ 1,227,405
(D) 当期損益金(A+B+C)	△25,352,466	66,658,458
(E) 前期繰越損益金	—	△17,258,541
(F) 追加信託差損益金	△11,835,528	42,802,979
(配当等相当額)	(△ 1,370)	(△ 6,706)
(売買損益相当額)	(△11,834,158)	(42,809,685)
(G) 計(D+E+F)	△37,187,994	92,202,896
(H) 収益分配金	0	△36,177,625
次期繰越損益金(G+H)	△37,187,994	56,025,271
追加信託差損益金	△11,835,528	42,802,979
(配当等相当額)	(△ 1,370)	(△ 6,706)
(売買損益相当額)	(△11,834,158)	(42,809,685)
分配準備積立金	—	13,227,277
繰越損益金	△25,352,466	△ 4,985

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)より分配対象収益は0円(10,000口当たり0円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注5) 第2期計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(49,404,902円)、および信託約款に規定する収益調整金(42,804,700円)より分配対象収益は92,209,602円(10,000口当たり1,529円)であり、うち36,177,625円(10,000口当たり600円)を分配金額としております。

* 分配金のお知らせ *

		1万口当たり分配金
第 1 期		0円
第 2 期		600円

- ◇分配金をお支払いする場合
分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合
お手持り分配金は、決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇分配金の区分について
- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。
分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ◇税金について
分配金は普通分配金に課税され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率が適用されます。

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

<参考情報>

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年4回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2018年2月28日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。

包括利益計算書

2018年2月28日に終了する会計期間
米ドル

収益	
受取利息	1,230
受取配当金	745,324
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	23,508,345
為替取引に係る収益（損失）	201,280
収益合計	24,456,179
費用	
運用管理報酬	472,668
保管事務費用	90,426
監査報酬	23,700
役員報酬	16,129
専門家費用	2,699
取引費用	75,872
その他営業費用	2,839
営業費用合計	684,333
税引前営業利益（損失）	23,771,846
配当金に係る源泉税	(78,315)
税引後営業利益（損失）	23,693,531
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	23,693,531

2018年2月28日現在の投資有価証券明細表（未監査）

	銘柄名	数量	簿価（米ドル）	時価（米ドル）
株式				
中国元				
	China Merchants Bank Co Ltd A Shrs	747,095	2,116,513.73	3,577,357.02
	Dong-E E-Jiao Co Ltd A Shrs	443,382	2,942,041.32	4,211,107.75
	Gree Electric Appliances Inc of Zhuhai A Shrs	694,344	1,560,239.99	5,671,854.00
	Hangzhou Hikvision Digital Technology Co Ltd A Shrs	621,694	1,894,564.50	4,182,386.37
	Industrial and Commercial Bank of China Ltd A Shrs	2,845,131	2,381,774.52	2,998,968.64
	Inner Mongolia Yili Industrial Group Co Ltd A Shrs	503,121	1,377,157.25	2,580,066.92
	Jiangsu Hengrui Medicine Co Ltd A Shrs	544,156	2,048,552.06	6,232,832.14
	Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs	55,241	2,416,085.91	6,334,532.98
	Midea Group Co Ltd A Shrs	627,267	2,736,417.13	5,447,082.59
	Ping An Bank Co Ltd A Shrs	1,229,100	2,514,077.30	2,340,550.90
	Ping An Insurance (Group) Co of China Ltd A Shrs	387,662	2,320,312.97	4,151,169.37
	SAIC Motor Corp Ltd A Shrs	381,750	1,862,950.92	2,029,452.34
	Wuliangye Yibin Co Ltd A Shrs	446,623	3,128,751.70	5,242,721.69
	Yunnan Baiyao Group Co Ltd A Shrs	201,921	2,240,501.13	2,977,192.76
	Zhengzhou Yutong Bus Co Ltd A Shrs	618,931	2,339,541.90	2,269,206.65
	中国元合計		<u>33,879,482.33</u>	<u>60,246,482.12</u>
株式合計			<u>33,879,482.33</u>	<u>60,246,482.12</u>
総合計			33,879,482.33	60,246,482.12

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

<参考情報>

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年4回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第10期決算日（2019年1月21日）の運用状況をご報告申し上げます。

<UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）>

* 最近5期の運用実績 *

決 算 期	基 準 価 額	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
6 期 (2015年1月20日)	円 10,025	円 0	% △0.0	% —	% —	百万円 892
7 期 (2016年1月20日)	10,021	0	△0.0	—	—	608
8 期 (2017年1月20日)	10,010	0	△0.1	—	—	40
9 期 (2018年1月22日)	9,997	0	△0.1	—	—	40
10期 (2019年1月21日)	9,982	0	△0.2	—	—	40

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期中の基準価額と市況等の推移 *

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2018年 1月22日	円 9,997	% —	% —	% —
1月末	9,996	△0.0	—	—
2月末	9,995	△0.0	—	—
3月末	9,994	△0.0	—	—
4月末	9,993	△0.0	—	—
5月末	9,991	△0.1	—	—
6月末	9,990	△0.1	—	—
7月末	9,989	△0.1	—	—
8月末	9,988	△0.1	—	—
9月末	9,987	△0.1	—	—
10月末	9,985	△0.1	—	—
11月末	9,984	△0.1	—	—
12月末	9,983	△0.1	—	—
(期 末) 2019年 1月21日	9,982	△0.2	—	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第10期	
	2018年1月23日～2019年1月21日	
当期分配金	－円	
(対基準価額比率)	(－%)	
当期の収益	－円	
当期の収益以外	－円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期		項目の概要
	2018/1/23～2019/1/21		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.043%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,989円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.031)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.002)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.045	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2018年1月23日 至 2019年1月21日)

	設		解	
	口	数	口	数
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	109	千口	109	千口
		110		110
		千円		千円

(注) 単位未満は切り捨て。

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2018年1月23日 至 2019年1月21日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高

(2019年1月21日現在)

項目	期首		当		期	末
	口	数	口	数	評	価
UBS短期円金利プラス・マザーファンド		千口		千口		千円
		40,594		40,594		40,695

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 40,695	% 99.9
コール・ローン等、その他	22	0.1
投資信託財産総額	40,717	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,717,359円
コール・ローン等	21,789
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	40,695,570
(B) 負 債	9,123
未払信託報酬	8,737
その他未払費用	386
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	40,708,236
元 本	40,780,207
次期繰越損益金	△ 71,971
(D) 受 益 権 総 口 数	40,780,207口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,982円

* 損益の状況 *

(自2018年1月23日 至2019年1月21日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 40,555円
売 買 益	50
売 買 損	△ 40,605
(B) 信 託 報 酬 等	△ 18,242
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 58,797
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 28,435
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	15,261
(配 当 等 相 当 額)	(19,026)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,765)
(F) 計 (C+D+E)	△ 71,971
(G) 收 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△ 71,971
追 加 信 託 差 損 益 金	15,261
(配 当 等 相 当 額)	(19,017)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 3,756)
分 配 準 備 積 立 金	287,628
繰 越 損 益 金	△374,860

[元本増減]

期首元本額	40,756,237円
期中追加設定元本額	123,572円
期中一部解約元本額	99,602円
1口当たり純資産額	0.9982円

純資産総額が元本を下回っており、その差額は71,971円です。

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(19,017円)および分配準備積立金(287,628円)より分配対象収益は306,645円(10,000口当たり75円)ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

<参考情報>

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第10期決算日（2019年1月21日）の運用状況をご報告申し上げます。

<UBS短期円金利プラス・マザーファンド>

* 最近5期の運用実績 *

決 算 期	基 準 価 額	期 中	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
		騰 落 率			
6 期 (2015年1月20日)	円 10,050	% 0.0	% —	% —	百万円 892
7 期 (2016年1月20日)	10,051	0.0	—	—	608
8 期 (2017年1月20日)	10,044	△0.1	—	—	40
9 期 (2018年1月22日)	10,035	△0.1	—	—	40
10期 (2019年1月21日)	10,025	△0.1	—	—	40

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

* 当期中の基準価額と市況等の推移 *

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率		
(期 首) 2018年 1月22日	円 10,035	% —	% —	% —
1月末	10,034	△0.0	—	—
2月末	10,034	△0.0	—	—
3月末	10,033	△0.0	—	—
4月末	10,032	△0.0	—	—
5月末	10,031	△0.0	—	—
6月末	10,030	△0.0	—	—
7月末	10,030	△0.0	—	—
8月末	10,029	△0.1	—	—
9月末	10,028	△0.1	—	—
10月末	10,027	△0.1	—	—
11月末	10,026	△0.1	—	—
12月末	10,025	△0.1	—	—
(期 末) 2019年 1月21日	10,025	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

*** 1万口当たりの費用明細 ***

該当事項はありません。

*** 期中の売買及び取引の状況 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

該当事項はありません。

*** 主要な売買銘柄 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

該当事項はありません。

*** 利害関係人等との取引状況等 ***（自 2018年1月23日 至 2019年1月21日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

（注）利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

*** 組入資産明細表 ***（2019年1月21日現在）

2019年1月21日現在、有価証券等の組入はありません。

* 投資信託財産の構成 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 40,694	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	40,694	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2019年1月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	40,694,552円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	40,694,552
(B) 負 債	114
未 払 利 息	114
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	40,694,438
元 本	40,594,085
次 期 繰 越 損 益 金	100,353
(D) 受 益 権 総 口 数	40,594,085口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	10,025円

[元本増減]

期首元本額	40,594,134円
期中追加設定元本額	109,633円
期中一部解約元本額	109,682円
1口当たり純資産額	1.0025円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 40,594,085円

* 損益の状況 *

(自2018年1月23日 至2019年1月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 40,133円
支 払 利 息	△ 40,133
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 40,133
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	140,437
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	367
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 318
(F) 計 (B+C+D+E)	100,353
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	100,353

(注1) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。